

4. 質量分析法を用いての微量血清蛋白質の定量法の開発

患者血清中には、疾患特異的に発現する病態バイオマーカー蛋白質の存在が知られている。病態バイオマーカー蛋白質の同定は、疾患の発症機構の解明や診断・治療に大いに資する。我々の研究室では、エレクトロスプレーイオン化トリプルステージ四重極質量分析計（ESI-TSQ-MS/MS）を用いて、病態バイオマーカーとなり得る血清蛋白質の定量法の開発を行っている。

図 1. ESI-TSQ-MS/MS を用いてのペプチドシーケンス

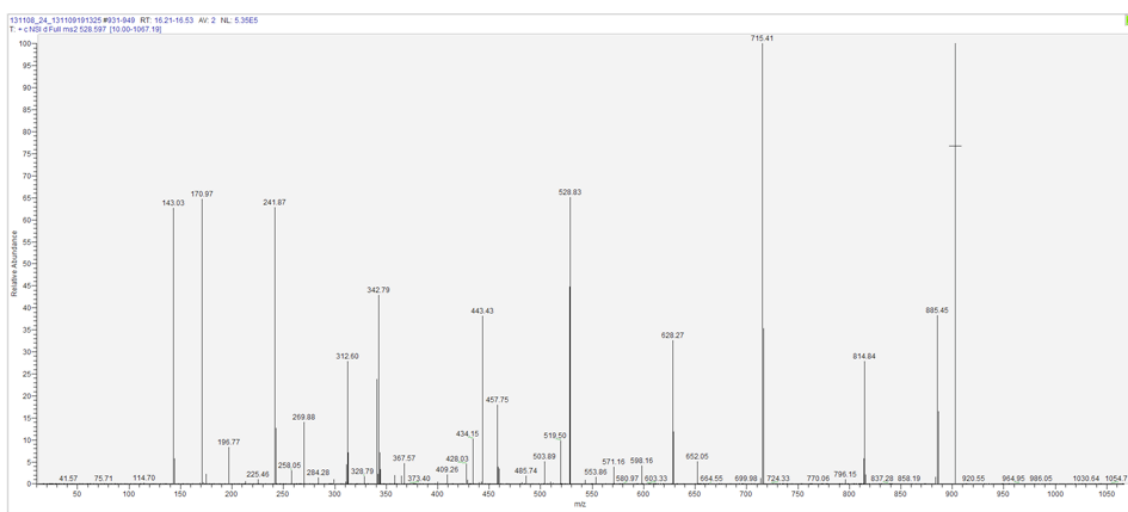


図 2. ペプチドの多重反応モニタリング（MRM）トランジション

